

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（東近江地域）第4回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年12月22日（木） 13時30分～14時50分

場 所：滋賀県東近江合同庁舎3階3-C会議室

出席者：井口 清幸 委員（竜王町 産業建設主監）

上阪 廣子 委員（近江八幡地区交通安全協会 会長）

藏口きよ江 委員（公募委員）

嶋村 和典 委員（日野町 建設計画課課長）

洲鎌 雅之 委員（東近江警察署 交通課課長）

田井中外和 委員（東近江市 都市整備部部長）

塚口 博司 委員（座長）（立命館大学 名誉教授）

福本 盛重 委員（近江八幡市 都市整備部部長）

前出みずほ 委員（近江八幡商工会議所女性会 副会長）

山本身江子 委員（日野町地域女性団体連合会 会長）

欠席者：大塚 ふさ 委員（社会福祉法人東近江市社会福祉協議会 会長）

改田 俊次 委員（公募委員）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）座長挨拶

（2）「第3回地域ワーキング」内容の確認について

- ・事務局より「第3回地域ワーキング」内容の確認について説明

（3）「第4回地域ワーキング」資料の説明

- ・事務局より第4回地域ワーキングについて説明

（4）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおり

【地域の声（案）／地域の重点項目（案）について】

- ・③通学路等の安全性向上について、「誰もが安全で安心に～」と書いてあるが、次の文章で「そのためには、特に幼稚園児～」と続いており、文章の流れに違和感がある。
- ・「そのためには、特に～」を「特に、」と修正してはどうか。「そのためには、～」と書くと、前の文章をより深めることになるので、別の言い方の方が良いと思う。他事務所での文章表現なども確認いただいて検討してもらえればと思う。
- ・地域の声に「災害への備えなど」と書いてあるが、災害や緊急車両、有事の際に対する道路整備等の文言が見当たらない。入れなくて良いか。
- ・全県の評価項目に入っており、選定の際には考慮している。（事務局回答）
- ・ランクⅠ～Ⅲで整理されているが、ここからランクA～Cの区分けになるとどうなるのか教えてもらいたい。
- ・客観的評価マニュアルによる点数付けでランクⅠ～Ⅲに分けている。13 ページや 19 ページで載せているのはランクⅠ～Ⅲまでの表となっているが、ここから、事業の熟度や進捗状況を考慮してランクA～Cに振り分ける。個別事業については回答しにくいですが、基本的にはランクⅡ以上の事業は、A Pに掲載されるランクA・Bになると考える。（事務局回答）

【客観的評価マニュアルによる事業の評価について】

- ・住民や議会において関心が高いので、掲載路線以外の路線も含めて、路線毎の評価結果を可能な範囲でお教えいただきたい。
- ・可能な範囲で構わないということなので、本件について事務局は検討いただきたい。
- ・早い着工を望んでいる。国道に抜ける道が狭いので、そういった点も少しずつでも改善・進歩してほしい。

① 拠点間ネットワーク整備

- ・17 ページの近江八幡守山線については、市としても国道8号と駅を結ぶ重要路線になるので、交通の流れについて、重点を置いて整備していただきたい。
- ・近江八幡守山線について、東の方の県道まで何とかしていただきたい。近江八幡駅に通じる道路が狭いので、次の機会にそういう話を出してもらえるとありがたい。
- ・拠点間ネットワーク整備も、生活道路と幹線道路の区分けを行い、生活道路を抜け道に使うことが減ることで安全に資すると思う。安全で円滑な道路整備に努めていければと思う。
- ・16 ページ掲載の土山蒲生近江八幡線は、名神名阪連絡道路の整備を考慮しているか。
- ・名神名阪連絡道路は、まだ具体的な事業計画には至っていない。土山蒲生近江八幡線は地域の方を中心として、日野方面から国道1号やI Cへのアクセス道路となる他、移動距離が短い区間における生活道路として利用される。名神名阪連絡道路と場所的には近いが、道路の利用形態や性格が異なるため、本道路も必要なものとして整備していきたいと考えている。（事務局回答）

② 拠点内道路空間整備

- ・大きな事業についての整理になっていると思うが、通学路などの細かいものが出てきたと

きには、その都度実施していただけるのか。

- ・拠点内、歩道整備は1億円以上の事業が対象になるため、それ未満の事業については、必要な箇所が出てきたら、その都度予算を確保して対応していきたいと考えている。(事務局回答)
- ・19ページの表で歩行者利便増進道路制度に○がないため、そういう意識がないように見える。予算金額が低いという意味合いもあるのだと思うが、表の見方を確認したい。
- ・歩行者利便増進道路制度への位置付けの有無で判定している。掲載した18路線には指定道路と指定区域がないため○が付いていない。(事務局回答)
- ・歩道を通るのは子どもだけではない。シニアカーなど幅をとるものを押している高齢者も多い。また、これから高齢化が進む中で、車に頼らないとはいえ、車でしか動けない地域もあるので、考慮してもらいたい。
- ・地域特性の中で、交通安全に対する評価を書いているのはありがたい。幼稚園周辺のことについては時代を反映していて良いと思う。

【その他について】

- ・必要な路線については、市も県と連携して進めていきたいと思う。